



第 27 号
2011.6 発行

巻頭言

理事長 児島 百代

小学校三年生で初めて二部合唱をハモラせたあの頃から七十年が過ぎました。

年を重ねる——という事を、又志向で考えてみると、自分の過去を客観的に見られるようになってきたことに気付きました。

そして音楽のみならず子供の頃から関わってきた総ての人々から恩恵を受け、育てられてきたのが今ここにいる自分なのだと感じています。

この度、そんな過去の自分史を「ももは歌い詩う」という詩集にして出版したのですが、自分自身の生きてきた道を振り返るよい機会となりました。

高校生の頃から書きためた詩は誰にも言えなかつた自分の感情をノートにぶつけたものに他ならないのですが、私のような年齢になりますとまるで他人事のように公開することが出来るようになりま

した。
この出版を機に今年から私の第三の人生に歩み出したいと思っています。

合唱の喜びを知り、合唱の道を歩み、これからも合唱の喜びを周囲の人に分かちあう人生を続けられることを心から幸せに感じています。

音楽講座

副理事長 佐藤 ゆり

昨年5月におこなわれた金澤先生の講座でヘクサコードのお話が あつた。極々簡単に要約するとルネサンスの時代、聖歌隊はヘクサコードで譜読みをし、その後、言葉をつけていた。ヘクサコードはドからラまでの音階で、半音はミとファの間だけである。臨時記号などで半音があるとしてミファと読み、その前後はその時の調正に順じて読むということになる。現代のハ調のド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ドはド・レ・ミ・ファ・ド・レ・ミ・ファとなり、ハ長調からト長

調へ移調しているように歌うのである。昔の聖歌隊はラテン語のお祈りなどそらんじている人ばかりであるから、すぐそのまま歌っていたとばかり思いこんでいた私には大きな驚きであつた。しっかりと

階名読みで音を取ってから言葉をつけていたとは思わなかつた。すぐさまルネサンスの曲を歌っている合唱団で試してみるとア・カペラが明らかに合わせやすくなった。面倒ではあるが、最初にどのような読み替えるかを決めてカナをふる。頻繁に読み替えがおきるものでふつておかないと混乱する。時代が代わっても宗教曲ではヘクサコードで読んだ方が効果的な曲があることに気づいた年であつた。

第四十六回定期演奏会と

第五十二回市民合唱祭

副理事長 丸山 孝之

第四十六回合唱連盟定期演奏会は、七月三日に芸術館大ホールで、二十六団体延べ五百三十名が参加して開催され、講師には新実徳英先生を招聘し、前年同様一団体毎の演奏直後に講師と、演奏者・指揮者との対話方式による講評をお願いした。この講評は演奏団体のみならず、観客にも講評内容が分

かり易く好評であつた。

今回は久し振りに前半・後半を分けた座席指定とし、観客の確保に努めた。その為もあり、今回は終演まで多くの方々が他団の演奏を鑑賞して下さつた。

又、七月六日には定期演奏会の反省会を実施、座席指定の方法、演奏後の退場と再入場について等数多くの貴重なご意見を頂いた。これらのご意見は今後の運営の参考とさせて頂きたい。

十一月十四日には第五十二回鎌倉市民合唱祭が芸術館大ホールで開催され、四十団体延べ八百七十五名が出演する盛会であつた。全員合唱では鎌倉市歌の他に一般公募により新しく作詞・作曲された鎌倉市愛唱歌「夢ひかるわれらの鎌倉」を演奏した。

市民合唱祭は鎌倉市民文化祭の一環として鎌倉市が主催し、合唱連盟が運営を行つて開催している。然しながら、最近の状況として、市民文化祭のあり方(例えば現在九月から十二月の四ヶ月に亘つて行われているその期間について、又観客の動員について、費用対効果について等々)を見直し再検討する時機にきている。

合唱連盟としては、出来るだけ

多くの団に参加して頂き、多数の観客を動員出来るよう努力しているが、出演される皆様も、日頃の練習の成果発表の場としてだけでなく、他の演奏も聴いて楽しむという、充実した演奏会となるよう、ご協力をお願いする次第である。

鎌倉合唱連盟ホームページ開設

理事 遠藤 恵紀

昨今、パソコンやケータイを使ってインターネットで様々な情報を得たり、発信したり、調べたり、買い物をしたり、イベントに申し込んだりすることが、ごく当たりまえの日常的なことになってきました。まさに世はIT化時代です。そこで、鎌倉合唱連盟も、独自のホームページを開設して加盟団体の便宜を図ってはどうか、という提案が出され、理事会で承認されました。連盟の基準や年度事業計画など各種情報や、会議のお知らせ、届け出のフォーマットなどを載せて、いつでも閲覧できるようにする計画です。また、演奏会への参加申し込みや届け出などは、インターネットを通じてパソコンで直接行えるようにする予定です。更に、鎌倉合唱連盟および加盟している各団体の活動状況などを世間一般の人々にも知っていただ

いて、気軽に参加いただけるよう各団の紹介なども載せていこうと考えていますので、大いに活用していただきたいと思っています。

このホームページの開設が鎌倉合唱連盟と、その加盟団体の今後の更なる発展に役立つことが出来れば幸いです。

ミニ講評、一喜一憂

理事 田中由生子

超一流のプロから幼稚園児まで世界中の合唱人口はいかばかりか。人は何故合唱団に入るのか？それは「歌いたい」からで「聴きたい」は二の次である事は確かだろう。

合唱祭の度に理事会では集客に頭を悩ませている。数年前、東京のある合唱祭で実施されているミニ講評に触れた私が提案してみた所、すんなり受け入れられた。

しかし、芸能人なみに、着替りハ、本番、又着替、反省会などをこなす出演者にとつて、ノルマを与えられたこの方法が、喜ばれているか、疎まれていないか、実態は把握しかねている。『人の振り見て我振り直せ』先人の言葉通り他団の講評を書く事は、自分達の欠点を気付かせ、明日への道標になる事は確かだと信じていた。好評も有難いが、短所を指摘さ

れるのも有難い。指揮者はピリピリするかもしれないが、とにかく全ての言葉により、お互いが高められて行くように願っている。

最後に一つお願いが。どうか枠からはみ出さないで書いて下さい。用紙を切るのは、とても大変なのです。よろしくお願いします。

二十五周年記念コンサートに寄せて

こゝる こすもす 阿部 栄子

1984年9月、通里にも家にも大勢の子供達の声がにぎやかに響いていた頃、ハイランドの一軒のお料理教室から楽しそうな歌声が聞こえてきました。こゝるこすもす誕生の産声です。料理教室に松本先生がいられたのも幸運でした。秋の誕生に因んでコスモス、英語で「宇宙」の意味にもこだわりました。3年後には鎌倉公民館ホールのステージに初めて立ちました。今や世界でご活躍の浜田理恵さんをゲストに「ホフマンの舟歌」をご一緒に歌ったのも誇らしくも懐かしい思い出です。

1995年「エールアンサンブル」をお招きし、10周年記念コンサートを欧林洞で開催。1998年鎌倉合唱連盟に加盟し、他団の合唱から学ばせて頂いています。2004年、20周年記念コンサ

トでは「モーツァルトの百面相」に挑戦しました。その年から老人介護施設で月に一度入所者の方と一緒に楽しく歌っております。

そして2010年11月14日鎌倉生涯学習センターホールで、25周年記念コンサートを開催。同じ地域でご活動のバレー団にもご出演頂き「くるみ割人形」を共演致しました。地域の仲間で始めたコースですが年と共に互いの心の支えとなり、掛替えのない存在となつていきます。

新任理事紹介

フラウエンコアウオンネ 後藤 公子

この度、力量不足とは重々知りつつ、鎌倉合唱連盟の理事を引受けることになりました「フラウエンコア・ヴォンネ」の後藤です。

私達が連盟に加入させて頂いてからもう十五年になります。私達の初ステージは一九九六年七月十四日の第三十二回定期演奏会で、それ以来、鎌倉芸術館大ホールでの合唱祭参加、合唱講習会、公民館使用料の軽減等、多大な恩恵を連盟から受けながら合唱を楽しんで来たことになりました。また、最近、打ち合せ会で、会員の皆様と親しくお話ができるようになりました。今回、理事をお引き受

けするにあたって、煩雑な日常では見逃していた「幸せ」を見直す機会として、微力ではありますが私共も何かお手伝いをさせて頂こうと思った次第です。児島理事長をはじめ、諸先輩理事の方々のご指導を受けながら、よりよい合唱環境を築いてゆくために、連盟の仕事に参加させて頂きたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

男声合唱団 牧神 遠藤 恵紀

鎌倉に住むようになって三十年余り、横須賀線の電車にゆられて東京まで通勤、やがて定年を迎え厳しい仕事から解放されて、さあ、第二の人生をどう過ごそうかと思案しつつ数ヶ月経ってふと、そうだ！子供の頃から好きだったのに、会社勤めの間できなかつた歌を歌うことを始めようと思ひ立ちました。そして巡り会ったのが佐藤ゆり先生とムジカおさらぎ混声合唱団。定年退職直前に悲しいことがあって、これからの残りの人生は自分にとって全く無意味なものと落ち込んでいましたので、久しぶりに大きな声でクラシックの歌曲を歌うことが出来たとき、ヨシ！第二の人生は歌って過ごそう！と決心しました。

それから十年ちよつと、歌漬けの生活が続いて、今や男声合唱団牧神（パン）の代表まで務め、この度鎌倉合唱連盟の理事に推挙されました。合唱は大好きですが、音楽を専門に勉強したわけではなく、合唱のことも鎌倉の音楽界のことも、何も解りませんが、私をこの世界に導いてくださったことに感謝して、自分なりに何かの役に立てればと思ひ、お引き受けしました。鎌倉の合唱界の発展のため、精一杯頑張りますので、どうぞ、宜しくお願ひ致します。

事務局補佐を引受けて

鎌倉女声コール 小林 桂子

事務局の澤さんから補佐役依頼のお電話をいただいたのは、新年のあわただしさから解放され、ホツトしていた時でした。「私のようなものが」と辞退させていただきましたが、再三お電話をいただきました内に、連盟主催の行事で、何時も忙しくお世話してくださっている、澤さんの姿がふつと浮かびました……。鎌倉の合唱団にお世話になって三十余年、何かお役に立つことができればと、受けさせていただきました。

仕事の内容にも不案内でイメー

ジも伴わないまま、一月二十六日の総会でご承認いただきましたが、これから、実務をお手伝いしながら、手心えを感じて行けるのではと思つています。ご指導をよろしくお願ひいたします。

総会では、恒例の行事とは別に年々煩雑さを増す事務のIT化、将来的には全ての業務（お知らせ各種申込、団の紹介 等など）を網羅したホームページの立ち上げが準備、進行中というお話しがありました。加盟団体の年齢層は幅広く、こうしたことは敬遠されがちですが、時間をかけて移行、便利さを実感できるようにするのが、楽しみにしています。

新規加盟合唱団の紹介

再加盟の御挨拶

女声合唱団青い花 佐川 雅子

私共「女声合唱団青い花」は、今度又、皆様と御一緒させて頂く事になり、感謝申し上げます。

私共は、新実徳英先生の作品を中心に月2回の練習を続けております。メンバーのほとんどが子育てを終えた主婦で、音楽に関しては、まるっきりの素人。当初は発声も楽譜も恐る恐るのスタート

でしたが、先生のユーモア溢れる激励のお蔭で、楽しく色々な歌に挑戦してきました。「世界にたった一つの楽器」を磨く（？）喜び、皆が心一つにしてハモった時の感動等、「合唱」の素晴らしさを実感！知らぬ間に、練習日を心待ちにするようになりました。

まだまだ未熟な合唱団ですが、これからは、合唱祭等に参加させて頂き、諸先輩の皆様にご学ばせて頂き、少しでも向上していきたいと思っております。

何かと不慣れで、皆様には御迷惑をお掛けするかと存じますが、今後共に、宜しくお願ひ申し上げます。

紫音かまくら

会長 関町 芳行

私たちの合唱団は混声四部で、人数は四五名、きれいなハーモニーを目指して練習をしています。

紫の色は東洋ではノーブルカラーと言われ、品のある、高貴な感じをもつ色ですが、私たちの合唱もそうありたいと言ひ願ひからきています。「紫音かまくら」は英語で言うところ「ノーブルサウンドかまくら」となり、頭文字をとって「NSK」で表わしています。

指導の先生は新井恵美先生で、

優しく、楽しく、いつも微笑みを絶やさず、きれいな声で、適切な指導をして下さいます。私たちはむしろ先生のきれいな声にひかれて楽しく歌い続けているのかも知れません。最初は声ならしに、愛唱歌集より五、六曲歌い、発表会のための課題曲に入ります。「モルダウの流れ」「帰れソレントへ」「お、ソレミオ」など、またやさしいので「みかんの花咲く丘」「知床旅情」「エーデルワイズ」など、歌いたい歌を選んで歌っています。問題は練習場所取りです。

鎌倉生涯学習センターが取れない時は鎌倉青少年会館、論語会館などで月2回、午後1時半より3時まで、殆んど欠かさず、時を忘れて楽しく歌っております。

平成二十三年度事業計画について

平成二十三年度年次総会が一月二十六日に開催され、平成二十二年度の事業報告、会計報告及び平成二十三年度の事業計画、会計予算が全員賛成で可決されました。本号ではその内の平成二十三年度事業計画の一部をお知らせします。各団の活動計画の参考にできれば幸いです。

三月末日 合唱連盟ホームページ開設予定

五月十七日(火)第四十七回定期演奏会の為の代表者会
出演順の決定他

六月二十一日(火)第四十七回定期演奏会の為の準備会
参加費納入
機関紙「えっせんす」
第二十七号発行予定

七月十七日(日)第四十七回定期演奏会・鎌倉芸術館大ホール講師を依頼する

九月中旬 第五十三回市民合唱祭の代表者会
出演順の決定

十月中旬 第五十三回市民合唱祭の準備会・参加費納入

十一月六日(日)第五十三回市民合唱祭・芸術館大ホール

連盟役員の仕事分担について

児島理事長 合唱連盟統括
佐藤副理事長 理事長補佐・役員会の取り纏め、広報、渉外統括

丸山副理事長

理事長補佐・広報及び事務局担当
機関紙発行の取り纏め・理事会、演奏会資料作成

阿部理事 広報・渉外・印刷物
遠藤理事 ホームページ

鈴木理事 会計
田中理事 会計
柳谷理事 書記
後藤理事 書記

熊谷理事 機関紙
細村理事 機関紙
澤事務局長 事務局取り扱い事項の纏め・各団への書類の送付・回収

小林事務局補佐 事務局長の補佐
連盟役員名簿作成・管理、会場予約

加盟各団の活動状況

*ジュニア合唱団 なぎさ道

平成二十三年九月四日

鎌倉芸術館大ホール

白いうた青い歌フェスティバル
ルイン鎌倉

鎌倉芸術館大ホール

*鎌倉女声コーラス

平成二十三年七月十一日

第四回定期演奏会

鎌倉生涯学習センターホール

*ぶどうの会

平成二十三年十一月三十日

第七回定期演奏会

逗子文化プラザ「なぎさホール」

*フラウエンコーア・ヴォンネ

かまくらの風

平成二十三年六月二十四日

カトリック由比が浜教会
*由比コーラス

平成二十三年 秋
第二十五回定期演奏会
鎌倉生涯学習センターホール

*女声合唱団「ラルゴ」
平成二十三年六月二十二日
鎌倉生涯学習センターホール

*女声合唱団「松」
平成二十三年四月二十三日
全日本おかあさんコーラス大会
神奈川県民ホール

平成二十三年十月二十二日
第八回定期演奏会
鎌倉芸術館大ホール

編集後記

三月十一日、東北地方太平洋沖に発生した大地震、大津波、そしてそれに伴う福島原発事故による未曾有の大災害。一瞬にして家の人を押し流してしまい廃墟と化してしまつた地。この現実をどう受けとめたいのかわからない虚脱した人々……。私に何が出来るのか？祈るばかりの毎日です。
細村 和子

えっせんす 第七十七号

二〇二二年六月 発行

発行責任者

鎌倉合唱連盟理事長

児島 百代

印刷所 F・フ タ バ ヤ